

ほゆう

会報 91号

平成 14 年(2002) 1 月例会時発行

〒277-0835 柏市松ヶ崎 1194-222

北総歩こう会事務局

TEL 090-3345-8750

年頭の挨拶

会長 関 清吉



みなさん、明けましておめでとうございます。旧年は米国におけるテロ爆破事件で全世界に衝撃が走り、多大な被害と犠牲者が発生するというテロ最大の大惨事となった事は、皆さんご承知のとおりであります。これによって「世界的な戦争に発展しなければよいがなー」と私達は危惧するところではありますが、どうか一日も早く收拾され、今年も平和で日々楽しく歩くことが出来ることを祈念しております。

当歩こう会は毎年障害事故も無く、無事故で楽しく年間行事を消化しており、喜ばしい事ですが、前記テロ事件の事を考えると私達の身辺にも何時如何なるとき、大事故に遭遇するか計り知れません。その為にもリーダーになる方は平常時に事故対応について十二ぶんに勉強しておく必要があると痛感いたします。

さて、北総歩こう会は、今年で創立9周年を迎える事になりました。愈々来年は一つの節目でありますし、意義ある10周年となります。創立以来、会員皆さんのご支援、ご協力のおかげで漸く今日を迎えることが出来ましたが、あと1年で10周年となりますが、これを無事に迎えることが出来るかどうか、絶対に大丈夫だと思う気持ちと一抹の不安とが交錯しているのが私の気持ちの現状です。



中国の故事に「創業は易く守成は難し」という格言が有ります。これは事業を守り育てることは創業以上に難しいということを行っているわけで、当歩こう会は営利目的の一般企業と異なり運営の難易度に差は有りますが、お互いに守成の難しい事を肝に銘じ「無事故」で今年を完歩し、元気で楽しく10周年を迎えられるよう会員みんなで頑張りましょう。



12月例会 <柏で望年ウォーク>を無事終了して

例会リーダー 加藤 洋子

2001年12月の例会というのに、私の下見は真夏の8月から始まりました。日中は暑いので、朝5時半からの下見を何回か試みましたが、早朝ウォークはとても爽やかで気持ちのよいことを初めて知りました。この例会の担当が決まった時点から、大堀川沿いコースを久しぶりに歩いて見たいと、私の頭に浮かびました。(2ページの下段に続く)



1. やあ!お早よう 明るい挨拶 さわやかに

ふぁみりーウォーク

※この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。

「ふぁみりーウォーク」の集合時間は、毎回午前9時00分です。

集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

- ☆1月19日(土) 年初め流山七福神巡り 約9km (担当・小林 直之)
 集合・出発：流山電鉄 流山駅 解散：東武野田線江戸川台駅
- ☆2月16日(土) 柏の自然と大堀川を歩く 約8km (担当・中山 弘)
 集合・出発：JR 常磐線北柏駅 解散：東武野田線増尾駅
- ☆3月16日(土) 我孫子の鎌倉道を訪ねて 約8km (担当・菊池 靖)
 集合・出発：JR 成田線新木駅 解散：JR 常磐線天王台駅

★開催日には、下車駅の改札口付近で担当役員がご案内を致します。御安心下さい

※問い合わせ先 0471-84-4353 (菊池 靖) 19時~20時のみ

(1 ページ下段より)

最近の大堀川は、少しずつ遊歩道も川も整備されて桜の木も一部ですが、柏市民の皆さんの記念植樹として植えられています。何年後かには桜並木の遊歩道になるかと期待しています。高田付近では、最近はかわせみ(翡翠)が生息していて、早朝や夕方等に多く見られるそうです。かわせみの他に鴨や白鷺や小鳥達が多く居ると言う事は、あの悪名高き大堀川も小魚達が泳ぐ程にきれいになったと言えるのではないのでしょうか……。



大堀川岸を歩く参加者

地元の私としては、そんな大堀川を会員の皆さんに見て、楽しんで歩いていただきたいと思いました。幸いに高田近隣センターと成願寺さんとで早くトイレも拝借する事も出来ました。困った事に雨天の場合、昼食の出来る屋根のある施設がこの付近には見当たりません。柏の葉公園の県民プラザのホールを借りる交渉に行ったのですが、生憎と当日は全館貸切で行事が有り駄目と言う事になり、仕方なく体育館の軒先を借りる事にして江戸川台駅までのコースを作ることが出来ました。ただ一番の心配は、柏駅から昭和橋の大堀川に出るまでの道路横断と川沿いを流山地区までは、信号の無い交通量の多いバス通り等5箇所の横断が有る事でした。

例会当日は晴天にも恵まれ、会員の皆様のマナーの良さと、役員の方々の多大なる協力とで何の事故もなく、無事終了することが出来ました。例会担当ではないが、私の要請で下見に協力してくださった役員の方々の皆様、本当に有難う御座いました。2001年の例会を無事に締めくくることが出来てほっとしております。2002年の新たな年も、皆様と楽しいウォーキングが出来るコース作りを目指して頑張りたいと思います。

(例会担当…清水完浩・岡崎千代子)

例 会 の 案 内 板

☆2月例会 北総歩総会ウォーク 花と緑の公園へ

午前中は、北柏から四季の花の見られる場所、花と緑の県立柏の葉公園までウォーキング。総会（会場・さわやか県民プラザ内）を挟んで終了後は江戸川台駅まで、またまたウォーキング。尚、昼食は県民プラザ内のレストラン『パレア』でバイキング料理大人一人 800円が利用出来ます。（自己負担です）是非、ご参加を!!

- *開 催 日：平成14年2月17日(日) 11km
- *集合場所：JR 常磐線北柏駅（改札口より案内あり）北柏第一公園
- *集合時間：午前9時00分
- *解 散：東武野田線江戸川台駅 16時頃
- *総会会場：さわやかちば県民プラザ 大研修室 （例会リーダー 大神 智恵子）

☆2月千葉県協会行事 CWA 総会ウォーク

- *開 催 日：平成14年2月24日(日)
- *集合場所：？
- *集合時間：？
- *解 散：？

☆3月千葉県協会行事 五街道クリーンウォーク（奥州日光）

- *開 催 日：平成14年3月9日(土)
- *集合場所：？
- *集合時間：？
- *解 散：？

☆3月例会 県境のまちウォーク

“凧と桜と滑空機”低木ながら3キロの桜並木と大風の里を歩き、江戸川のグライダー滑空場へ。遙かには富士、秩父、上州、日光、筑波の山々が眺望出来るサイクリングロードを歩く。埼玉県庄和町から千葉県関宿町へ関東平野のど真ん中を歩きます。

- *開 催 日：平成14年3月31日(日) 17km
- *集合場所：東武野田線南桜井駅北口（改札口より案内あり）
- *集合時間：午前9時
- *解 散：東武野田線川間駅南口 午後3時半頃 （例会リーダー 藤井 順一）

※例会行事問合せ先 047-367-7556 森 禎之 19時~20時のみ

（田沢湖 2DM 歩行記 4ページからのつづき）

この山は「花の百名山」としても有名で、女目岳(1637m)を最高峰とし、男岳・女岳・横岳など火口原を囲む峰々を総称して「秋田駒ヶ岳」とよんでいます。阿弥陀池に着く頃には、少しずつ雲が切れて青空が見えるようになり、女目岳のピークも見え隠れしています。ザレ場を登り、女目岳ピークに達する頃には、強風に雲も取れ岩手山・八幡平・田沢湖も眺められるような天気に戻っていました。男山にも登り下山しました。途中の田沢湖高原温泉で、乗り換え時間を利用し、汗を流します。（次回の「ほゆう」92号につづきます）

5、 歩かせて いただく土地に 感謝して

想い入れの下見歩る記 — 3 —

相馬霊場巡り あれこれ ③雪の強行軍 〃 2度も〃

ある時の下見は東の端、我孫子側布佐から大利根を渡つての小貝川沿いに歩き、戸田井橋を渡って始めて目的の札所に着く下見だった。布佐から戸田井橋まで約 5km、本番コースならそれで良いが今回下見の趣旨は、所在場所を確認する事である。「それならバスで取手から戸田井橋まで行けば時間短縮が計れる」と提案、その方向で下見が実施された。

その日は生憎、朝から雪が落ちて来てみるみる積もり、足元を取られながらの下見だった。又、ある時もやはり雪、常総線寺原駅から少し入った所の両端に梅林があり、それが冠雪して綿帽子のよう、シーンとした中にサクサクッと下見参加者の靴音のみが周囲に響く。それは神秘的で厳粛なムードだった。永山公民館まで来たが、靴の中は雪水でビシャビシャ、さながらシャーベットのよう、雪の中、靴の中で足が泳いでいるようだ。皆に遅れる事〃大〃、「大丈夫か？」と声を掛けられ、励まされ「ハイッ」と言いながらも足は重かった。

そんな事も味わいながら築き上げたコースを、Yさんは『相馬霊場八十八ヶ所案内』というA-5版70頁の小冊子を作られた。役員諸氏が手弁当で製本されたその小冊子は素晴らしい案内誌で参加者の多くの方々から好評を博した。そして末尾に捺してもらった参加記録の印章が又、何とも云えない。(これは例会後の事だが) そんな想い入れの下見だった。(直翁)



高原寺の鐘楼と地蔵樗

つれづれなるままに⑧

利根町在住会員
林 義治

9/29 歩友数人と小貝川源流源流を辿る道の探訪に真岡市を歩き、稲刈り最中のカントリーウォークを堪能し、この付近の川が意外に清らかであることに驚き、且つは安心し更に歩を進めると、想いがけなく親鸞上人ゆかりの専修寺と、二宮尊徳の桜町陣屋跡にめぐり会えた。コースリーダーに負うところなるも、親鸞が佐渡島から放免されて常陸地方で20年間過ごした後、京都に戻った史実は知っていたが、立派な古寺に参詣できた喜びも一入。帰途の真岡鉄道・SL列車は我々の貸切りとなり、下館までの車中に於ける会話は缶ビール片手の小学生気分。首都圏自然歩道にも名刹が点在する事をお忘れなく。

ほゆうウオー句コーナー 泉 狂歩
去年今年 歩き通して 初日の出
寒晴れに 懐と向き合う 筑波峰
寒鰯や 沖の漁火 佐渡が島
歴代の 悪童どもが どんど焼き
穏やかに 穏やかに佐渡は 小正月
紅梅も 蕾なりけり をんな坂
狂い歩き 十七文字で 綴る旅

編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石6-187-43

Fax 0471-54-0170 & Eメール moon@mail.wics.ne.jp 常時

TEL 090-9298-3794 18:00~21:00 受付

田沢湖 2DM 歩行記

関宿町在住会員 藤井 順一

歩けの旅はいつも単独行が多く、2つのパターンに分かれます。前者は大会のみに参加して直帰するケース、時には夜行バス等を利用するために非常に疲れます。後者は日程を十分に調整して大会以外の旅を楽しむことができます。その計画は3~4ヶ月前から準備をし、大会開催地周辺の市町村から観光資料などを取り寄せる事から始めます。そして大会の参加を基本とした幾つかの計画案を作っていきます。天候を考慮したコースも作ります。それらが出来上がると時刻表との調整をします。飛行機・JR・特に新幹線が延伸された地域では、在来線が少ない場合があり要注意です。路線バスや高速バス、船舶の時間もチェックします。旅行中の時間を無駄にしない為にもこれらは重要な作業になります。

今回の田沢湖2DMはJR切符が発券される1ヶ月前に最終案となる2案を決め、盛岡駅を旅の出入口にしました。往復には「やまびこたび割7きっぷ」を利用する事にしました。これは往路のみ限定の列車を利用すれば、往復の新幹線料金が約半額になるトクトクきっぷです。A案を盛岡から八幡平・田沢湖・角館とし、B案を逆コース



に出ています。左右回りの2コースが有り、1回乗車が100円、1日フリーパスも300円でとても便利なバスです。南部藩20万石の城下町として栄えた城跡は、岩手公園として整備され市民の憩いの場になっております。美しいレンガ造りの岩手銀行中ノ橋支店、啄木新婚の家等の市内散策をし、次の目的地、角館に向かいました。角館は東北の小京都としてや、桧木内川の桜並木等はあまりにも有名で、ここでの探勝は3~4時間ぐらいではまだ足りないぐらい。観光客もまばらなひっそりとした町を、ゆっくり歩いて来ました。角館にはもうひとつの楽しみがありました。近くのわらび劇場では、劇団わらび座が常設公演をやっています。しかしこの日は休演日、A案では計画してあっただけに、残念な思いで角館をあとにしました。角館から

にし、八幡平散策のために天気によりコースを変える事にしました。日程は9月28日発の3泊4日とし、2泊は大会事務局を通して申し込み、1泊はコースによって現地で決定する事にしました。日程中の天気予報が不安定で、コースの決定を出来ずに当日を迎えました。新幹線車窓からのみちのくの山々は雲に隠れ、目指す八幡平方面も見えずB案を決定し、盛岡駅に到着しました。駅前のバスターミナルからは、20分間隔で市内循環バスの、でんでんむし号が

JR 利用で田沢湖に行くには、バスに乗り換えるために時間がかかってしまいますので、秋田駅からの直通バスを利用します。車中は遠距離通学の小学生達で、にぎやかな路線バスの旅になりました。田沢湖畔に着き、最終宿泊地の旅館の予約を取ります。これで今回の計画のすべてがうまり、後は歩くだけです。しかしこの時点では、計画の変更が出てくるとはよもや思ってもおりませんでした。



スタート地点の白浜会場は準備も整い、前の湖岸はその名のとおり真っ白な白砂青松の砂浜も広がり、宿泊地までの3kmをのんびり歩いて行きます。湖沿いの道は車も少なく明日も楽しく歩けそうです。ペンション「サウンズグッド」は湖畔の林の中にひっそりと建ち、中に入るとBGMがながれ、音楽関係の本やCD、ドラムセットの楽器類も置かれ、音楽好きなオーナーがやっていることがすぐわかります。部屋やトイレはちょっとした気配りがして有り、お風呂はピアノの形をしたユニークなもので、地物を使った料理も美味しく、月1回はライブもやっているそうで音楽好き、特にジャズファンの人にはたまらない、湖畔の隠れ家的なペンションでした。

スタート地点の白浜会場は準備も整い、前の湖岸はその名のとおり真っ白な白砂青松の砂浜も広がり、宿泊地までの3kmをのんびり歩いて行きます。湖沿いの道は車も少なく明日も楽しく歩けそうです。ペンション「サウンズグッド」は湖畔の林の中にひっそりと建ち、中に入るとBGMがながれ、音楽関係の本やCD、ドラムセットの楽器類も置かれ、音楽好きなオーナーがやっていることがすぐわかります。部屋やトイレはちょっとした気配りがして有り、お風呂はピアノの形をしたユニークなもので、地物を使った料理も美味しく、月1回はライブもやっているそうで音楽好き、特にジャズファンの人にはたまらない、湖畔の隠れ家的なペンションでした。

9月29日 大会1日目の朝は一段と冷え込み、素晴らしい晴天となり、今秋初めての手袋を着け「伝説のヒロインコース」40kmのスタートを切りました。コース前半は山麓を市街地に向かい、後半は日本一深い神秘の湖、田沢湖を一周するコースです。美少女「たつこ姫」の伝説にふさわしく、ルリ色の湖水も美しく、昼食地の瀧前山森林公園からの眺めは、湖水に秋田駒ヶ岳が映え圧巻でした。コース上のどこからも見える秋田駒ヶ岳は、1日中、私の目にやきつき、いつしかこの山への憧れはゴールが近づくとつれて、心の中で増幅されていました。

ゴール後はすぐにバス停に行き、秘湯と言われる乳頭温泉郷に向かいます。田沢湖高原の奥深い乳頭山麓に点在する温泉郷で6軒の湯宿は、いずれもひなびた山の湯宿の風情があります。バス停終点の蟹場温泉で手足をゆっくり伸ばしてクールダウンです。湖畔に戻る頃には、日も暮れ静かな夕闇の中で秋田駒は大きなシルエットを横たえ、「おいでおいで」と呼びかけられているようでした。この日の夕食は秋田駒へのコース作りになりました。事前に用意しておいた周辺の資料が役に立ち、明日の天気を見て決行することにしました。



9月30日 曇り空で予報もあまり良くなく、大会会場に着いても躊躇しています。駒ヶ岳は雲の中、バスの時刻も迫り、勇躍決断してバス停に向かいます。大会

2日目はキャンセル、今日のコースは駒ヶ岳です。バスで登るにつれて視界も悪くなり、8合目(1300m)バス停は何も見えません。ちょっぴり後悔しながら雨具をつけて出発です。余談になりますが、地方の大会に参加の時は、必ずウォーキングシューズの他に、軽登山靴等を持参します。時には3足持参する事もあります。今回もそれが役に立ち、重い荷を背負い大会とは違った歩調でガレ場を一步一步登って行きます。(5ページの下段につづく)

4. 自分のゴミ、自分の責任もち帰り